

麦



埼玉親の会「麦」発行

2025年6月29日 163号

E-mail: mugi.saitama89@gmail.com

ホームページ: <https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>

2025 年度を迎えて ～会長よりメッセージ～

＜ 会 長 挨拶 ＞

梅雨入りしても雨が少なく暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。2025 年 4 月 20 日の総会で承認された理事達の互選によって、引き続き会長を務めさせていただくことになりました。機関紙発行時期の都合により、6 月末に新年度のご挨拶をする運びとなりました。まず昨年一年間、「麦」のためにご尽力いただいた昨年度の会員皆様に、心より感謝申し上げます。そして今年度入会された皆様、「麦」へご入会いただき、誠にありがとうございました。

発達障害を持つ人が直面する問題は、周囲の理解不足、集団生活の困難、支援の不足などが挙げられます。また、発達障害の特性だけでなく、二次的な問題（不登校・ひきこもり・行為障害・メンタル的な疾患等）によって、本人や家族が抱える悩みは多岐にわたります。親の会として、会員皆様の悩みを共有し、寄り添う活動を目指していくつもりです。ただ、悪気はなくても何気ない一言が誤解を招くこともございます。不手際等がございましたら、どうかお知らせください。至らない点もございますが、皆様のお力をお借りしながら職責を果たしていきたいと思えます。会員皆様にとって「麦」が「心のオアシス」のような存在になれるよう、取り組んでいく所存です。

会員皆様には活動へのご理解とお力添えの程、お願い申し上げます。(H・Y)



2025 年度 第 36 回 埼玉親の会「麦」総会

4/2 (日) 10:30～ 浦和コミュニティセンターIT 研修室+オンライン

正会員限定 正会員 34 名中、会場出席 9 名、オンライン 2 名、

委任状 12 名、書面表決による出席 6 名、合計 29 名

司会、議長を選出し、式次第に従って進められました。2024 年度活動報告と決算案、2025 年度予算案が資料のとおり承認されました。最後に新年度の理事選出を行い、閉会しました。会員の皆さん、2024 年度の活動にご協力いただきありがとうございました。2025 年度もよろしくお願いいたします。(M・N)

発送活動

2 月発送 2/27 (木) 13:00～ さいたま市市民活動サポートセンターミーティングスペース

午前のおしゃべり会の後、理事達で機関紙を印刷製本し、関係先に郵送いたしました。郵便料金の値上げやインターネットの普及により、郵送物が減り、WEB 掲載やメール添付のような送付方法が増えました。印刷郵送が多い時は、会員皆様ご協力お願いいたします。(H・Y)

4 月発送 4/2 (水) 13:00～ さいたま市大宮ふれあい福祉センター印刷室

4/1 (火) 会計監査が終了後、翌日に会場配布用に総会資料を印刷、正会員宛に総会出欠ハガキ等を郵送いたしました。今年度総会で会計報告と監査、総会委任状の簡素化が認められましたので、次年度は総会出欠ハガキのみ正会員へ郵送予定です。また今年度から機関紙臨時号（事務連絡版）が廃止され、諸連絡はメール送信していますが、ご希望の方には印刷物で郵送いたします。その際は、事務局までご連絡ください。(H・Y)

全体活動

2月全体おしゃべり会



2/27（木）10:30～12:00 浦和コミュニティセンター IT 研修室

参加者 会場：会員3名（就労G3名）、非会員4名

オンライン：会員1名（就労G1名）、非会員1名

非会員や会員の急なキャンセルが多くあったため、会場では年齢別にグループを分けることができず、1グループで行いました。参加者のうちの1名の方の状況が深刻であったため、皆でそのことについて話をしているうちに多くの時間が過ぎてしまいました。その結果として他の参加者の方たちが遠慮されるような形になってしまい、それぞれの方がお話をされる時間が短くなってしまいました。おしゃべり会のように短い時間の中で、特定の話題に偏り過ぎずに話を進めるのは難しいと今更ながら感じましたが、参加者の方たちに満足してもらえるようにできるだけ配慮して、おしゃべり会を進行することを目指したいと思いました。（M・M）

全体活動

3月全体おしゃべり会

3/29（土）10:30～12:00 浦和コミュニティセンター第12集会室

参加者 会員7名（教育G2名、就労G5名）非会員6名

3月おしゃべり会は年齢別に2つのグループに分けて行いました。

私の息子は30歳代ですが、小中学生のグループに参加しました。息子の学生時代を振り返り、支援も理解も進んできている今でも同じ悩みを抱えているんだなと共感いたしました。

年齢が近いグループにしたことで不登校についての悩み、学校でのトラブル、就労についての悩みなどの活発な意見交換の場となりました。おしゃべり会は同じ悩みを共感できる場です。皆さまもおしゃべり会に参加してみませんか？（A・Y）

全体活動

会員限定 4月ランチおしゃべり会



4/20（日）12:00～16:00

さいたま市市民活動サポートセンターミーティングスペース（9F テーブル「又」）

参加者 正会員6名（教育G2名、就労G4名）、賛助会員1名

4月のおしゃべり会は総会の後にランチをしながら行ないました。

会員限定のおしゃべり会だったので、お子さんの悩みを相談したり、これからの麦の活動で行なってほしいことなど、和気あいあいとお話ことができました。とても有意義な時間を過ごすことができました。

今後も会員限定のおしゃべり会を開催してほしいと思いました。（A・Y）

役員活動報告



入会希望者対象 入会相談会

4/20（日）13:00～14:00

さいたま市市民活動サポートセンターミーティングスペース（9F テーブル「A」）

参加者 理事2名 非会員2名

4月総会終了後に、入会希望者対象に入会相談会を行いました。2名の方が来て下さり、麦に興味を持った動機などを伺い、また、会の目的などの考え方や活動内容を説明しました。短い時間でしたが、参加者の方々は会の説明を熱心に聞いてくださり、不安なことを相談した上で、入会を決める方もいました。おしゃべり会のお試し参加者にも、おしゃべり会終了後に会の説明は行いますが、すぐ帰宅される方には説明時間が取れません。いろいろな事情があるでしょうから、ご都合に合わせてお申込みいただけたらと思いました。（M・M）

5月全体おしゃべり会



5/31(土) 10:30~12:00

さいたま市生涯学習総合センター 9F 学習室1

参加者 会員7名（教育G4名、就労G3名）、非会員:8名

今回は出席者が多く、年齢別に3グループに分けて行いました。私は中学生の多い中年齢のグループでしたが、年齢が近いこともあって困り事や関心のある事は、不登校だったり、宿題など勉強面であったりと、共通する部分が多く、参加者それぞれから活発な発言が出て、和気あいあいとした雰囲気の中で話が進みました。皆が悩みを抱えていると言いながらも、話をしているうちに表情が明るくなっていく様子も見られました。おしゃべり会に参加して良かったと思って帰宅してもらえることを願います。(M・M)



役員活動報告

NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会 主催

ひきこもりになってから気づく大人の発達障害

2/2(日) 13:30~ 岩槻駅東口コミュニティセンター多目的ルームC

NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会から依頼され、「麦」会長が月例会に伺い講演させていただきました。KHJ 埼玉けやきの会家族会とは、全国ひきこもり親の会の埼玉支部で、Kは家族会、Hはひきこもり、Jはジャンプの略称です。当日の主な内容は、「LD/ADHD/ASD 別の各年代における特徴と気付きのタイミング」「発達障害の二次障害」「早期発見・早期支援」「年代別の顕在化」「発達障害と不登校・ひきこもり」「事例紹介」「家族会の活用と役割」等です。幼少時には発達障害と気付かず、ひきこもりになって専門機関へ相談したところ、発達障害と指摘された成人を想定してお話いたしました。講演後は、家族同士の話し合いの場にも参加させていただきました。KHJ 埼玉けやきの会家族会の皆様、当日はお世話になりました。このような機会をいただけたことに、感謝申し上げます。

「麦」会員にも、ひきこもりの発達障害者を支えている方がいます。ひきこもり問題解決のためには、親の心のケアも重要です。どうか親自身も心の状態を大切にしてください。ひきこもりのご本人やご家族が、周囲から適切なサポートを受けられるよう、心からお祈りしております。(H・Y)



役員活動報告（さいたま市）

令和 6 年度さいたま市ひきこもり対策推進事業地域支援研修 不登校・ひきこもりの理解と支援について～安心安全な環境を整える～

2/17（月）13:15～16:50 さいたま市子ども家庭総合センター会議室

さいたま市では、地域の官民関係者を対象にひきこもりへの理解を深める研修を毎年行っています。私は、ひきこもり対策連絡協議会委員およびさいたま市発達障害相談員の立場で、毎年研修に参加しています。今回は、ひきこもり以外に不登校も研修テーマに加わったので、教員やスクールカウンセラー、家庭児童相談員の出席が目立ちました。

まず、オリエンテーションとしてひきこもり相談センターの説明があり、次に「不登校・ひきこもりの理解と支援を考える～神経発達症（発達障害）に着目した支援の視点」というテーマで、NPO 法人子育て応援隊むぎぐみ代表の喜多見学氏のご講演がございました。それから、不登校経験者から不登校に至った経緯や望ましい支援について、オンラインでお話を伺いました。

最後に不登校の事例が紹介され、2つのグループに分かれてワークを行いました。異なる職種による視点から、多様な解決策が提案されましたが、私は今回の事例では家族の精神疾患が、本人の不登校に大きな影響を及ぼしている気がしました。不登校・ひきこもり支援は、息の長い働きかけが必要です。本人と家族が孤立しないよう、地域の支援者と繋がるような体制を進めてほしいと思いました。（H・Y）



役員活動報告（さいたま市）

令和 6 年度第 3 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会

2/20（木）10:00～12:00 さいたま市障害者総合支援センター

さいたま市発達障害者支援センターは、発達障害者への福祉の進展のため、発達障害者支援に携わる様々な機関からの委員による標題協議会を設けており、「麦」も家族会として参画しています。

始めの議題は「Q-SACCS（発達障害の地域支援システム：地域の支援体制の見える化をするための方法）を用いたさいたま市の発達障害者支援体制の検討」です。各委員が提出した所属する機関の事業とその評価について発表しました。支援機関の増加など施策が充実してきたことが分かりましたが、各機関同士の連携や人員の不足など課題も多く上げられました。次は「さいたま市発達障害者地域支援マネジャー活動報告」です。今年度始まった事業で、発達障害児・者の対応に悩んでいる支援者を応援（共に課題を整理し、支援方法を考える等）します。現在は2名で、モデル区（北区・緑区）を中心に（可能な範囲で市全域）活動しています。徐々に人員と活動範囲を増やすそうです。

発達障害のある方やその家族が困ったとき、適切な相談や支援が受けられる体制をより充実させていただきたいです。また今回のお話を伺って、支援を受ける立場の私たち親の会が今後できることとは？を考えていきたいと思いました。（M・K）



令和6年度さいたま市第3回誰もが共に暮らすための市民会議

2/10（月）10:00～ ファシリテーター打合せ（オンライン）

2/21（金）14:00～16:00 生涯学習総合センター多目的ホール

標記会議は、さいたま市における障害者施策について、障害種別や障害のあるなしに関わらず、幅広く市民に参加いただき、意見交換しながら障害への理解と交流を深めることを目的に開催されています。私は、今回ファシリテーター（グループ進行）の立場で参加いたしました。2/10（月）にファシリテーターの打合せがあり、2/21（金）会場では5つのグループに分かれ、テーマに沿って話し合いました。

当日の内容は、下記の通りです。

- （1）次期障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査（案）について
- （2）災害時の合理的配慮、避難所レイアウト図（案）に関するまとめについて
- （3）全体発表（各グループ討議内容）

私のグループでは、（1）においては「障害種だけでなく障害特性別の集計も必要」「WEBフォーム回答を行ってほしい」「自由筆記を充実させ丁寧に聞き取ってほしい」（2）においては「一次避難所と二次避難所（福祉避難所）の中間的な避難所の設置」「避難所カードの記入方法の工夫」「避難所における障害のある母親の授乳場所の確保」等の意見がございました。最後に各グループのファシリテーターから討議内容が発表され、多様な意見を伺うことができました。標記会議に関心のある会員は、さいたま市障害政策課ノーマライゼーション推進係までお問い合わせください。（H・Y）



令和6年度第2回さいたま市発達障害者支援地域協議会

3/11（火）15:00～17:00 Zoom

さいたま市発達障害者支援地域協議会では、発達障害の関係者等が相互の連絡を図ることにより、さいたま市における発達障害者の支援体制に関する課題について情報を共有しています。連携の緊密化を図るとともに、さいたま市の実情に応じた体制の整備について協議しており、「麦」も家族会の立場で委員を委嘱されています。

初めに、「令和6年度発達障害児者及び家族等支援事業について」として、ペアレントメンター養成講座、ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座（相談・交流事業）の実施の報告がありました。この事業は埼玉県と共同で実施しています。次は「集中的支援加算（強度行動障害）について」これは、強度行動障害のある方の支援に苦慮する事業所へ、支援者を支援する人材を派遣し、集中的な支援を行った場合に算定できる加算のことです。さらに「5歳児健診について」は現在実施されている3歳児健診以降、5歳児でも行い、就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整備し、主に発達に懸念のある子どもの早期療育開始を目指すものです。二つの事業について前回協議会以降の報告がありました。どちらも人材の確保など課題が多く、さいたま市での本格的実施時期はまだ決まっていません。（M・K）



令和6年度第3回さいたま市障害者政策委員会

3/14（金）14:00～ときわ会館5階大ホール＋オンライン

さいたま市障害者政策委員会は、障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進についての必要な事項の調査審議等を行うために設置されています。第3回目も、会場＋オンラインだったので、私はオンラインで出席しました。

議題

- （1）令和7年度予算案の概要について
- （2）次期障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査について
- （3）誰もが共に暮らすための市民会議の報告について
- （4）その他



（1）令和7年度予算案は2月の市議会定例会において、可決されました。障害者政策委員会内で予算全ての事業を審議することが困難の為、障害者施策の観点から事業を実施する上での留意すべき具体的な意見を、さいたま市理事にもお手伝いいただき、3月5日に提出いたしました。当日は各委員から提出された意見を中心に討議しました。提出した意見が次年度に活かされるように願います。

（2）次期障害者支援計画策定のためのアンケート調査については、発達障害者は手帳を持たない人も多くいるため、対象者をしぼりにくいのです。なので麦もさいたま市在住の会員にアンケートを送付して協力しています。今回は配布先に放課後等デイサービスと自立支援医療利用者に新たにアンケートを配布する予定ということでした。Web回答も併用します。

（3）誰もが共に暮らすための市民会議の報告については、災害時の避難所のレイアウトの説明や合理的配慮について話の重点がおかれまして。備えあれば憂いなしですが、避難所が開設される事態がおこらないように思わず祈りました。

私はさいたま市障害者政策委員を2年間務めさせていただき、合計6回の会議に参加させていただきました。この度、任期満了に伴い後任理事へ引き継ぐことになりました。さまざまな立場の人の意見を聞けるよい機会をいただきました。ありがとうございました。（C・N）



令和7年度さいたま市障害者政策委員会ワーキンググループ

5/26（月）13:00～16:00 ときわ会館 5階小ホール

さいたま市では障害者に関する施策の推進についての必要な事項の調査審議などを行うため、障害者政策委員会を設置しています。次期さいたま市障害者総合支援計画（令和9年度～11年度）策定のための基礎資料とすることを目的に10月頃にアンケート調査をするにあたって、3年前の前回アンケートを見直し、修正や削除を行った内容について、委員の議論を深め、整理するために、ワーキンググループが開かれました。

アンケートは事業所向けのものと当事者向けのものがあり、それぞれについて各委員から事前に提出された意見をもとに議論が行われました。質問項目があまり多いと回答者の負担になるということから、前回アンケートのうち施策策定には直接結びつかない項目については削除することになりましたが、特に当事者向けアンケートについては多くの意見が出され、時間が足りないくらいでした。

アンケートを配布し、結果を集計することはもちろん大切ですが、その結果を活かした施策が策定され、実行されることを望みます。（M・M）



令和 7 年度さいたま市障害者相談員委嘱式、研修会

4/10（木）浦和コミュニティセンター

さいたま市では障害者福祉の一つとして、障害のある方やご家族が同じ背景を持つ人とお話・相談ができるよう、障害種別に相談員を委嘱しており、新年度にあたり委嘱式が行われました。発達障害の相談員として「麦」から 2 名の理事が委嘱されています。お話を伺う機会には、わずかでもお役に立てることがあればよいと思っています。

委嘱式のあと研修会が行われ、さいたま市中央区障害者生活支援センター来夢管理者の大須田潤子氏のお話「障害者生活支援センターの役割」を伺いました。相談事業には一般相談、差別・虐待に関する相談、計画相談、地域移行・定着支援（指定一般相談支援）があり、障害のある本人や家族、関係者などから様々な相談を受けています。しかし、相談の件数がとても多く、マンパワーの不足を常を感じていらっしゃるようでした。ご多忙の中、相談者ひとりひとりの生活をより良くするために努力してくださっていることを感じ、感謝するとともに、皆が将来適切に利用できるよう、充実していくことを願います（M・K）

さいたま市障害者生活支援センター

<https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/004/003/005/p002725.html>



令和 6 年度第 2 回埼玉県発達障害者支援地域協議会

3/19（水）オンライン Microsoft Teams

埼玉県発達障害者支援地域協議会は、発達障害者及びその家族、学識経験者並びに医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関の職員が、県内の発達障害児・者への支援体制に関する課題について情報を共有し、実情に応じた支援体制の整備を図る為に、平成 29 年に設置されました。「麦」は、JDDnet 埼玉（日本発達障害ネットワークの埼玉県組織）に所属しているので、家族会として協議会の委員を務めています。本協議会は年 2 回実施され、今年度第 2 回の協議会が開催され、出席いたしました。内容は下記の通りです。

報告（1）令和 7 年度の発達障害支援に係る事業の概要について

（2）「世界自閉症啓発デー 2025」に係る啓発事業について

令和 7 年度の発達障害者支援に係る事業の概要と実績および令和 7 年度発達障害者支援に係る事業の概要についての取り組みの報告がございました。また、「世界自閉症啓発デー 2025」に係る事業の埼玉県の啓発事業について説明（P9 の記事参照）がありました。

議題（意見交換）

発達障害者の就労支援におけるインクルージョンについて

第 1 回協議会のテーマ「発達障害支援におけるインクルージョンの推進」の意見交換報告の後に、埼玉県における発達障害者の就労支援におけるインクルージョンについての取組の説明がありました。その中で埼玉県発達障害者就労支援センタージョブセンター川口から「発達障害者の就労支援におけるインクルージョンについて」をテーマに相談支援事例を交えて、どのような相談支援をしているかのお話がありました。

その後、出席委員が意見を述べ、私は発達障害者が就労相談支援機関を利用してから就職が決まった後の職場定着支援をしていただけるのは充分承知していますが、職場に長く勤めることは難しいのが現状で、同じ職場に長期継続勤務していく支援体制を充実してほしいことを求めました。本協議会により、支援が広がることを期待しています。（A・Y）





「高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究」の報告・解説

講師：伊藤由美氏（国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター総括研究員）

2/20（木）10:00～12:00 参加者 22 名

3/23（日）10:00～12:00 録画配信参加者 45 名

本研究において、本人や親に特性理解が進んでいない場合は、高等学校卒業後の進路先である大学・企業で困難が生じる可能性が高いことが報告されました。進路選択においては、本人が適応できそうな環境が整備されている場が求められます。高等学校の進路指導は、進路先や関係機関から情報提供を受け、生徒の卒業後の生活をイメージすることが大切です。障害のある生徒の進路指導には、専門的な知見を持つ機関との連携は不可欠で、親は学校に任せきりでなく、連携先を本人と共に探していかなければなりません。親も子も、受け身の姿勢で待っているだけでは、よほどラッキーでもない限り、助けはなかなかやってきません。困った時に、本人が自分自身で合理的配慮を求められるよう、子育てする必要性を感じました。（H・Y）



NPO法人全国LD親の会

全国LD親の会 オンライン各会役員交流会

第5回役員交流会 2/22（土）19:30～21:30 第6回役員交流会 4/12（土）13:30～15:30

「麦」が所属する全国LD親の会では、偶数月に各地親の会の役員同士がZoomで交流できる場を設けています。各会、都合のつく役員達が自由に参加し、情報交換しながら、活動や運営について話し合っています。最近のテーマは「Sustainable な親の会活動は可能か？」でしたが、2月と4月は「令和8年度予算要望事項」について話し合いました。2月は21名の参加があったので、文部科学省・厚生労働省（厚生関係と労働関係）・子ども家庭庁の4グループに分けて、省庁宛の意見を話し合いました。4月の参加者は14名と少なかったため、グループ分けせず参加者全員で各省庁宛の要望を細かく確認していききました。

「麦」では、毎年埼玉県とさいたま市に要望書を提出していますが、地方行政では解決できないことがたくさんあるので、全国LD親の会を通じて国へ制度改正や支援拡充するよう求めました。「麦」の意見は全て全国LD親の会要望書に反映されました。全国LD親の会理事・評議員の皆様、要望書のとりまとめ、ありがとうございました。（H・Y）

NPO法人全国LD親の会

全国LD親の会 関東・東北ブロック会議



3/15（土）13:00～16:00 Zoom

全国LD親の会では、全国を5つのブロックに分けて活動しております。「麦」が所属する関東・東北ブロックは新たに宮城「り～る」が加盟し、12団体となりました。ブロック会議当日は全ての団体が参加、全国LD親の会理事長1名・副理事長2名を含めて、参加者は25名でした。「麦」からは会長と会計が参加いたしました。簡単に内容をご報告いたします。

・全国LD親の会からの報告

役員選任（麦会長が全国LD親の会監事を再任 任期2年）

総会・公開フォーラム・特別支援教育支援員養成ビデオ講座・各会組織運営調査など

・各会（12団体）からの活動報告（2024年4月～2025年3月）

会員の確保と役員負担、オンラインの活用、地域や年齢別の活動、講演会や勉強会の報告など

全国LD親の会の行事は会員連絡網でお知らせしています。関心のある会員はご参加ください。（H・Y）



さいたま市主催発達障害に関する講演会

発達障害に対する理解と支援～発達障害のある人が働きやすくするために～

3/1（土）14：30～16：10 武蔵浦和コミュニティセンター多目的ホール

講師：まほ氏（ASD/キャリアコンサルタント）、木村 志義氏（一般社団法人ペガサス代表）

さいたま市では毎年発達障害啓発週間（4/2～8）に合わせ、この時期に講演会を開催しています。今回の参加者は120人ほどでした。「麦」のリーフレットや例会のチラシを他団体の提供資料とともに自由にお持ち帰りいただきました。

まほ氏は、コールセンターのお仕事を始められてからストレスなどで体調を崩され、発達障害の診断を受けられました。とてもつらかった時のさりげなくサポートしてくれた職場の先輩や、相談機関の方の寄り添いにとても感謝されていました。悩みながらも現在の新しい仕事に取り組んでおられ、「生きているだけでは嫌だ」と前向きな気持ちでいらっしゃる姿に感銘しました。

また、就労移行支援事業所を運営する木村氏は、まほ氏のお話を受けて、障害のある人たちに「障害があってもやりたいことをやってほしい」と強調されていました。そのために、本人はまず「体調管理が大切」であること。周りの人へ「一対一できちんと向き合ってくれることで、本人は存在していいと思える」などとお話いただきました。

さいたま市におかれましては、毎年講演会を開催してくださりありがとうございます。今後も発達障害への理解促進の場を提供して下さるようお願いいたします（M・K）



埼玉県および JDDnet 埼玉 「発達障害啓発週間」ポスター展示

4/2（水）～4/8（火）会場：コクーンシティ

4/2 は「世界自閉症啓発デー」、また 4/2～8 は「発達障害啓発週間」です。今年も昨年と同様、さいたま新都心駅近くの大型商業施設（コクーンシティ）内の一角にパネルを設置して、「世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間」の案内や発達障害の説明、JDDnet 埼玉加盟団体の内「麦」を含めた4団体の紹介ポスターなどを展示しました。「麦」は会の紹介ポスターとリーフレット、4月と5月の例会のチラシを展示しました。場所も昨年と同じで、目につきやすいエスカレーターのそばでしたが、昨年に比べてリーフレットなどの減りが少なく、残念でした。このような機会が、少しでも多くの人たちに発達障害を理解いただくきっかけになることを願います。

今年も会場の予約、展示と撤去の作業をすべて埼玉県発達障害総合支援センターが行っていただきました。大変お世話になり、ありがとうございました。（M・K）

ブルーライトアップ



発達障害啓発週間には、シンボルカラーのブルーに建物などをライトアップするイベントが世界各地で行われていますが、埼玉県内でも以下のような各所で実施されました。（実施主体は異なります）

埼玉会館、大宮ソニックシティビル、さいたまスーパーアリーナ、埼玉県立小児医療センター前広場 カリヨンの樹、埼玉スタジアム2002、ウエスタ川越、旧跡忍城（行田市）、航空公園駅前の国産航空機YS-11（所沢市）、古利根公園橋（春日部市）、狭山市駅西口エスカレーター、草加市役所本庁舎玄関等、桶川市坂田コミュニティセンター、さいたま市障害者総合支援センター、さいたま市役所市民サロン東側 桜の木の下 他

第34回日本LD学会大会

一人ひとり自分の学び方との出会いがそこにある 好奇心が伸びていく

- ・日時：10月18日（土）～19日（日） 会場+Webのハイブリッド形式
- ・会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 渋谷区代々木神園町 3-1
- ・大会会長：阿部利彦（星槎大学大学院 教育実践研究科）
- ・通常参加申込：7月8日（火）～9月23日（火）
- ・後期参加申込：10月9日（木）～11月19日（水）

例年通り、親の会企画シンポジウムと親の会ポスター展示がごさいます。

「麦」会員は、非会員（一般）でなく、非会員（全国LD親の会）で申し込みできます。

詳細は下記 URL でご確認ください。

<https://conference.wdc-jp.com/jald/2025/index.html>



国立国会図書館障害者用資料検索 みなサーチ

みなサーチは、国立国会図書館の障害者用資料検索サービスです。活字の図書を読むことが難しい人が利用しやすい形式の資料（点字、DAISY、テキストデータ、大活字本、LLブック、電子書籍、バリアフリー映像）を探することができます。利用者登録すると、利用しやすい形式の本をダウンロードして、パソコンやスマートフォンで読んだり聴いたりできます。



〈利用者登録申請できる人〉

障害その他の理由で通常の活字印刷物の読書が困難な方

例 視覚に障害がある方

ディスレクシアの方

上肢に障害がありページをめくることができない方など

詳細は下記 URL でご確認ください。

<https://mina.ndl.go.jp/>

障害者職業総合センター 職業センター

「発達障害者の障害特性を踏まえた相談の進め方」発行

障害者職業総合センター職業センターは、発達障害者に対する職業リハビリテーション技法の開発・改良を進めています。2025年3月、発達障害者との相談の進め方やコツを取りまとめたマニュアル本が発行されました。「相談の構造化」「支援ツールの整理」「支援者の相談スキルの振り返り」等が掲載されています。本マニュアルが地域で活用され、発達障害者に対する支援スキルが向上されるよう願っています。本マニュアルは、下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.nivr.jeed.go.jp/center/report/support28.html>



「麦」活動報告（機関紙 2025 年 2 月 162 号報告以降）



<会全体の活動> 会員参加行事

・ 総会	4/20（日） 第 36 回総会 正会員限定 会場+ Zoom
・ 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）	2/27（木） おしゃべり会 会場+ Zoom
	3/29（土） 5/31（土） おしゃべり会 会場のみ
	4/20（日） 会員限定ランチおしゃべり会 会場のみ

<役員活動>

・ 理事会（Zoom）	2/14（金） 3/17（月） 4/18（金） 4/25（金） 5/19（月）
・ ホームページの更新	1/31（金） 2/23（日） 2/28（金） 3/27（木） 4/27（日） 5/29（木）
・ 入会相談	3/14（金） 個別 Zoom、4/20（日） 会場相談会、5/23（金） 個別 Zoom
・ 機関紙発行および各種発送に関する活動	2/27（木） 機関紙 162 号発行、WEB 掲載 印刷・発送
	4/2（水） 総会資料印刷・総会出欠ハガキ等発送
・ 行政関連の行事	2/10（月） さいたま誰もが共に暮らすための市民会議ファシリテーター打合せ（Zoom）
	2/17（月） 令和 6 年度さいたま市ひきこもり対策推進事業地域支援研修（会場開催）
	2/20（木） 令和 6 年度第 3 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（会場開催）
	2/21（金） 令和 6 年度第 3 回さいたま誰もが共に暮らすための市民会議（会場開催）
	3/5（水） さいたま市予算案に対する意見書提出
	3/11（火） 令和 6 年度第 2 回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
	3/14（金） 令和 6 年度第 3 回さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
	3/19（水） 令和 6 年度第 2 回埼玉県発達障害者支援地域協議会（Microsoft Teams）
	4/10（木） さいたま市障害者相談員委嘱式、研修会（会場開催）
	4/14（月） さいたま市発達障害者支援連絡協議会の相談（Zoom）
	5/26（月） さいたま市障害者政策委員会ワーキンググループ（会場開催）
・ その他	2/2（日） KHJ 埼玉けやきの会家族会へ講師派遣
	2/12（水） NHK クローズアップ現代 取材の事前説明 Zoom
	3/1（土） さいたま市講演会「発達障害に対する理解と支援」（会場開催、一部オンライン）
	麦リーフレットおよび例会チラシ等、自由持ち帰り資料として提供
	JDDnet 埼玉 発達障害啓発週間 さいたま新都心コクーンでポスター等の展示
	4/2（水）～4/8（火） 3/13（木）ポスター等持参、4/10（木）ポスター引取
	4/18（金） 不登校生徒の家庭教師希望者から Zoom 説明

<全国 LD 親の会の行事>

	2/20（木） 行政勉強会「高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた
	3/23（日） 録画配信 進路指導と連携の進め方等に関する研究」（Zoom）
	2/22（土） 4/12（土） 各会役員交流会（Zoom）
	3/15（土） 関東・東北ブロック会議（Zoom）

おしゃべり会のご案内（会場とオンライン）

発達障害のお子さんや家族を持つ保護者＆家族おしゃべり会です。7月は会場で、8月はオンラインで開催します。対象者は「麦」会員ですが**入会希望者のお試し参加を受付けます**。参加希望者は、下記の申込み先にご連絡ください。

会場開催 保護者＆家族おしゃべり会

日 時 7/31（木）10:30～12:00

受付 10:15～

場 所 さいたま市生涯学習総合センター講座室 3

さいたま市大宮区桜木町 1-10-18

シーノ大宮センタープラザ 7F JR 大宮駅西口徒歩 5 分

TEL048-643-5651 有料駐車場あり

参加費無料 定員 15 名 定員になり次第締め切り
入会希望者のお試し参加可

申込先

開催日の 1 週間前まで

7月8月 共通



埼玉親の会「麦」 WEB フォーム

<https://forms.gle/sZXXwZCXxnbrxoyC6>

オンライン 保護者＆家族おしゃべり会

日 時 8/23（土）10:00～12:00
9:50～ Zoom 入室可

オンライン（Zoom）接続可能な方
3 日前までに Zoom 接続先を連絡します

参加費無料 定員 15 名 定員になり次第締め切り
入会希望者のお試し参加可

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989 年発足。

問合せ先

埼玉親の会「麦」



<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/mugi.saitama89@gmail.com>

TEL 080-4125-6020

7月・8月どちらも開催日の 1 週間前までに、二次元バーコードまたは URL からお申し込みください。**WEB フォームから申し込みできない方**は、

メール mugi.saitama89@gmail.com 電話 080-4125-6020

こちらにお問い合わせをお願いします。3 日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020（確認用）へ電話をお願いします。

参加者の個人情報は、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。

☆会場保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

9月は、**正会員限定で施設見学会**を行います。

発達障害の就労準備訓練について一緒に学びましょう。

入会希望者には、入会相談会を実施します。(個別相談ではありません)

どちらも参加希望者は、下記の申込み先にご連絡ください。

申込先

9/3(水)まで

入会相談・施設見学会 共通



埼玉親の会「麦」 WEB フォーム

<https://forms.gle/yY9nkyJZfH6NM3Z38>

「麦」入会相談会(入会希望者)

日時 9/10(水) 13:00~14:00

場所 さいたま市生涯学習総合センター学習室 1

さいたま市大宮区桜木町 1-10-18

シーノ大宮センタープラザ 9F JR 大宮駅西口徒歩 5 分

TEL048-643-5651 有料駐車場あり

無料 定員 10 名 定員になり次第締め切り

入会希望者限定 申込者に別途詳細連絡します

「麦」施設見学会(正会員限定)

日時 9/10(水) 15:30~16:30

場所 埼玉障害者職業センター職業準備室

さいたま市南区沼影 1-20-1 武蔵浦和大栄ビル 302

JR 武蔵浦和駅西口徒歩 10 分

TEL048-872-1300

無料 定員 7 名 定員になり次第締め切り

「麦」正会員限定 お子様はご遠慮ください

申込者に別途待ち合わせ等詳細連絡します

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989 年発足。

問合せ先

埼玉親の会「麦」

<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/mugi.saitama89@gmail.com>

TEL 080-4125-6020



ランチ会・入会相談会どちらも9/3(水)までに、二次元バーコードまたはURLからお申し込みください。 **WEB フォームから申し込みできない方は、**

メール mugi.saitama89@gmail.com 電話 080-4125-6020

こちらにお問い合わせをお願いします。3 日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020(確認用)へ電話をお願いします。参加者の個人情報は、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。

☆保育は行っておりません。相談会にお子様をお連れになる際は、保護者にお任せします。

✿7月保護者&家族おしゃべり会

日時：7月31日（木）10:30～12:00（受付 10:15～）

場所：さいたま市生涯学習総合センター 講座室 3

定員：15名 参加費無料 入会希望者のお試し参加可

✿8月オンライン保護者&家族おしゃべり会

日時：8月23日（土）10:00～12:00（9:50～Zoom 入室可）

定員：15名 参加費無料 入会希望者のお試し参加可

オンライン（Zoom）接続可能な方

3日前までに Zoom 接続先を連絡します

※詳細はチラシ（12 ページ）または麦ホームページにてご確認ください。

✿9月入会相談会&施設見学会のご案内

入会相談会

日時：9月10日（水）13:00～14:00

場所：さいたま市生涯学習総合センター 学習室 1

定員：10名 入会希望者限定

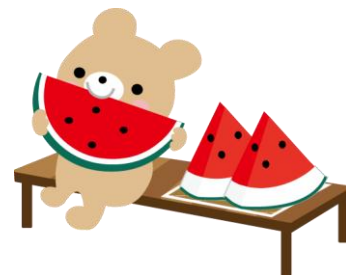
施設見学会

日時：9月10日（水）15:30～16:30

場所：埼玉障害者職業センター職業準備室

定員：7名 正会員限定

※詳細はチラシ（13 ページ）または麦ホームページにてご確認ください。



◆申し込み チラシ掲載のWEB フォームからお願いします。

WEB フォームから申し込みできない時は<mugi.saitama89@gmail.com>へご連絡ください。

✿理事会（Zoom）のお知らせ

7月25（金）、8月18（月） どちらも9：15～（遅刻早退可能）

理事会は、理事だけでなく正会員なら誰でも参加できます。理事会に参加したい会員、麦へのご意見等は麦事務局までご連絡ください。 mugi.saitama89@gmail.com

*今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

～編集後記～ 2025 年度機関紙担当からのご挨拶

新年度が始まり、麦もグループ LINE を始めました。会場にあまり足を運べない方はグループ LINE に参加しておしゃべりしませんか？

今年は理事 2 名、お手伝い 2 名の 4 名体制で機関紙制作をしていきます。よろしくお願いいたします。（A・Y）

春に進級や就職をしたものの、慣れない環境にとまどっているお子さんも多いのではないのでしょうか。見守る親もストレスがたまりますよね。そんなときはぜひおしゃべり会にご参加ください。Zoom によるオンラインおしゃべり会も企画していますよ。（M・N）

機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙6月号に原稿をお寄せいただきありがとうございました。
これからも麦の活動にご協力をお願いいたします。 <機関紙担当一同>

